

広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]



第213号
昭和52年

5月1日

放牧のシーズン・イン
阿蘇地方の風物詩、赤牛の放牧が始まりました。暖かい陽差しを浴びて、各地の原野では牛がのんびりと草をはんでいます。野焼きで黒くなっていた山膚もいまでは緑がまぶしく、いくらか牧草が育ちました。長い冬の間、狭い小屋につながれていた彼らは自然に放たれてうれしそう。この冬生まれの仔牛は母牛の回りをはねながら、自然にいる喜びを存分に味わっています。

おもな内容

- 新農業委員21人決まる……………(2)
- 町立草北保育園・喜びの入園式……………(3)
- 美しい町づくりめざして……………(4)
- 51年度の町の主な事業紹介……………(5)
- 赤羽根で「三つ子」の赤牛誕生……………(6)
- 高森の歴史散歩・郷土の博物誌……………(7)

5月8日	5月15日	5月22日	5月29日	6月5日
後藤 隆雄 医	平田 隆雄 医	馬原 隆雄 医	東 隆雄 医	寺崎 隆雄 医
南阿 70019	高森 20216	高森 20646	高森 20309	高森 20378

診療は午前9時から午後5時まで

人口

— 3月31日現在 —

9,741人 男… 4,718人 女… 5,023人
世帯数…………… 2,628
転入 55 出生 19
転出 160 死亡 8

俳句

肥後狂句
機 名人芸の消えて行く
女 中部屋 大学の子に賭ける夢
裏 通 り パンコに弾むへボ将棋
機 牛どま見れん農繁期
女 中部屋 薬屋泊むるこつもある
腹 ン立 つ 預金値打ちの減るばかり
裏 通 り 戦災知らん門構え
さらば独身 親に孝行する覚悟

岡本 琴司
林田 一声
浦塚 南天
田上 黙公子

風あれど大梨の花揺れもせず
胡蝶舞う寺苑に低き苔地蔵
遠目にもそれと寺院の梨の花
春鶯の声のみ寺の静けさに
木洩日にひそと咲きつぐさばの花
中天に広がる梨の花盛り
登り来て和尚の案内落椿
吟行に春野ぬけ行く山の寺
ものゝ芽の中に埋もる苔地蔵
岩清水竈に集め札所寺
花冷えの古刹の堂のほの暗さ
野仏の埋まるほどに落椿
野草庫と言われし寺頑風光る
面さしの似通う地蔵さくら草
礎急に踏みつつ登る落椿
屈み見る一人静の花小さし
山吹のあたり明るき寺苑かな
山水に筒浸し庫裡は留守

岩下 扶美
内田 あや女
桐原 寿
柴田 ふい子
林 久恵
平田 り子
古庄 泰子
松岡 信子
山村 ふみ子

おめでた おくやみ

出生	出生児	性別	生年月日
旭下 通町	本田 雄雄	子	52.3.3
旭下 通町	本村 尚洋	公	52.3.8
旭下 通町	木下 友博	公	52.3.19
旭下 通町	後藤 敏光	公	52.3.18
旭下 通町	津留 林	公	52.3.19
旭下 通町	下田 安弘	公	52.3.8
旭下 通町	色見 弘司	公	52.3.27
旭下 通町	多良 義孝	公	52.3.25
旭下 通町	林 永富	公	52.3.30
旭下 通町	末佐 正明	公	52.4.10
旭下 通町	永藤 光則	公	52.3.7
旭下 通町	本田 光人	公	52.3.15
旭下 通町	渡辺 真一	公	52.3.19
旭下 通町	岡本 和雄	公	52.3.22
旭下 通町	藤原 英夫	公	52.4.2
旭下 通町	鶴林 孝夫	公	52.3.28
旭下 通町		公	52.4.3

死亡	遺族	続柄	死亡者	年	月	日
森 中村	小林 緒方	妻	岩下 緒方	76	52.3.16	
森 中村	緒方 荒牧	妻	岩下 緒方	76	52.4.4	
森 中村	山田 上野	妻	岩下 緒方	78	52.4.6	
森 中村	山田 上野	妻	岩下 緒方	84	52.3.23	
森 中村	山田 上野	妻	岩下 緒方	84	52.3.25	
森 中村	山田 上野	妻	岩下 緒方	84	52.3.21	
森 中村	山田 上野	妻	岩下 緒方	73	52.3.22	
森 中村	山田 上野	妻	岩下 緒方	60	52.3.26	
森 中村	山田 上野	妻	岩下 緒方	78	52.4.6	
森 中村	山田 上野	妻	岩下 緒方	87	52.4.8	

雑詠

桜のころ

社倉 今泉多美江 (84)
花咲かば告げんと言ひし山里の
使いは来たり 馬に鞍 馬に鞍な
らぬ自家用車 鞍馬の山ならぬ九
十九曲り高森峠 見おろせば ま
た見上ぐれば桜花らんまん その
風に散る風情 木陰に立いていざ
いざ花を眺めん

自然に謝す

上色見 後藤嘉平 (86)

○いつ見てもあかぬ眺めは根子岳
の天下に誇る天狗の岩
○朝夕に見る根子岳の好景色文字
にも書けず語られもせず

湯の里荘 今村美園 (67)
○遠き日の友が訪ひくれぬ阿蘇の
曙銘葉の土産

香典返し

町社会福祉協議会に次の方々から
らご寄付いただきました。

- △上色見中原の佐伯地一さんから
(母、ジュカさん・93歳死去)
- △高森村山の杉田武徳さんから
(父、正さん・77歳死去)
- △大字津留の高野ハツ子さんから
(夫、英幸さん・52歳死去)
- △色見中国の緒方惟隆さんから
(母、ヨシユさん・76歳死去)
- △野尻の工藤日押さんから
(母、マエさん・78歳死去)
- △草部の田上重重さんから
(妻、ヨリエさん・84歳死去)

新農業委員21人決まる

現職7人、新人は14人

5月上旬に初の委員会

新しい農業委員が決まりました。本町の農業委員は公選十三人、議会推薦五人以内、農協団体の推薦二人となっており、このうち公選

投票当選と決まりました。また農協および議会推薦による新農業委員八人もこのほど人選が決まり、これで二十一人の新委員の顔ぶれが決まったわけですが、二十一人の内訳は現職七人、新人十四人で任期はいずれもことしから三年間。第一回の農業委員会は五月上旬に開かれ、各委員の互選

で新しい会長が選出されることになっていきます。新委員は次の通りです。

▼甲斐昌次(中) 遠山哲男(菅山) 佐藤啓(草部) 本田登(永野原) 田上勝(高森) 桐原郁雄(同) 後藤末義(同) 住吉豊(色見) 白石秀夫(上色見) 熊川満(河原) 野尻誠一(野尻) 野尻典義(津留) 田上房男(尾下) 岩下八束(高森) 松田富男(高森) 岩下励(色見) 安藤良一(中) 小崎信幸(草部) 渡辺成實(高森) 熊谷績雄(津留) 後藤深(河原)

の向上を図ろう―五つの大会スロ―ガンを満場一致で採択しました。薬タバコ品評会の上位入賞者は次のとおりです。

▼優等 岩下計(冬野) 谷川勝(同) ▼一等 山田正(芹口) 田上和徳(菅の迫) 後藤初男(同) 工藤友重(川上) 後藤進昭(芹口) 緒方文雄(中園)

増産功労者らを表彰

町タバコ生産者大会開く

五十一年度高森町タバコ振興協議会生産者大会が三月二十五日午前十時から畜産センターに関係者約百人が出席して開かれました。

昨年は全般的に好天に恵まれ質、量とも近年にない豊作。公社側の買い上げ価格八・〇二割アップと相まって、本町の

金は、二百四十六万円となり、耕作意欲も盛り上っています。とくに一昨年度より昨年度は耕作面積で八十割、耕作者数で七人それぞれ増加しており、このような漸増を背景にさらに今年度の見通しも明るい状況です。

阿蘇タバコ耕作組合がまとめた本町の昨年度の生産実績は、総収納代金五億四千三百万円(一昨年度四億四千二百五十八万円)一戸当たりの平均収入二百四十六万九千円(百九十二万六千円)十割平均四十一万四千円(三十三万二



タバコ振興協議会生産者大会

千円)十割当たり
の収量三百十二ギ
(二百七十九ギ)。

生産者大会では
浪瀬高森薬タバコ
生産事務所技術課
長の品評会審査報告と五十一年度
実績報告があったあと、町から薬
タバコ品評会入賞者と増産者に表
彰状と、記念品が贈られました。

引き続き、会長(町長)あいさつ、
来賓の小屋迫県タバコ耕作連合会
長、杉本高森薬タバコ生産事務所
長らが祝辞を述べ、このあと①十
割当たり量目三百ギ以上を確保し
よう②十割当たり四十二万円以上
を収得しよう③総収納代金五億五
千万円以上を突破しよう④実熟堆
肥を増産し品質の向上を図ろう⑤
完全なる土寄せを励行し、生産性

このほど県警の異動があり、高森署関係では次の七人の警察官が入れ替わりました。

【転入】▼外勤係長(防犯少年課) 柳瀬源喜▼交通係長(県警交通企画課) 吉住元博▼主任(熊本東署) 徳永光雄▼同(機動隊) 前田伸生▼同(山鹿署) 藤井博光▼草部駐在所(山鹿署) 浜田康夫

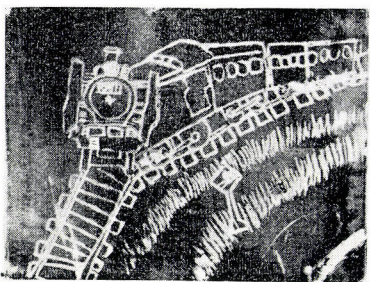
【転出】▼(大津署) 田中武昭▼(熊本北署) 井上藤道▼(熊本東署) 永田堅治▼(山鹿署) 穂見雄一▼(玉名署) 東健二▼(交通機動隊) 横山健次▼(立野駐在所) 浪辺登



吉住交通係長

浜田巡查長

みんなの広場



「スチレン版画」

尾下小 3年 児玉 秀 昭

明るい世の中の実現を

津留 馬 原 範 三 (74)

現代の表面は明るい世の中のように見えるが、裏面は必ずしもそうではなく、背向きあい、恨みあい、現実に見られる世の中なのではないだろうか。

聖徳太子の十七条の憲法の一節に怨瞋(いかり)を捨て、人の違(たが)うを怒(おこ)らざれ」とある。

忿は急に怒ること。瞋は目をむいていること、心のいかりが忿、顔色をかえて怒るのが瞋で、ちよ

つと人から注意されても心を亂し、顔色を変えて怒る。自分のあやまちや短所に気づいても素直にうなずこうともしない。表面は平静に見え、怒りを含んでいないように見えても、内心までは探るこ

交通安全意識「高めよう」

永野原大樹木

農業 一 主婦

私たちの日常生活は、交通で始まり交通で終わるといってよいほど車とのかかわりが深くなくなっています。車のおかげで大変便利よく暮らしていますが、これもちょっとの油断から家庭を不幸のどん底に落してしまう恐ろしい武器に早変わりする場合もあります。

積極的に交通安全意識を高め、家庭生活においても「歩行者の安全対策」「飲酒追放」に気を配る必要があります。とくに大切なことは、家族が外出するときは①行く先を聞く②忘れ物をさせない③時間に余裕をもって出かける―など心にゆとりをもたせる習慣をつけたいものです。

より心をすなおに、神にも仏にも毎日拝み続けながら、一歩一歩と強い足取りで、明るい世の中の実現めざして、生き抜きたいものだ。(吉村貫練著「人生開眼」の一部参照)

全国農業者会議に参加して

竹内 辰三 (24)

上色見

4日クラブは、会員の減少(特に女子会員)が目立始めました。やはり農業に従事する若者は、一つのつながりを持ち、広い視野の中で成長するのが一番いいのではないのでしょうか。農業は一人一人がそれぞれの生き方を主張し、植付けから収穫までのあらゆる作業を通して生きがい、求められます。それに、お互いが助け合い、心のふれあいを感じながらの生活は、他の社会では体験することのできないことです。

この会議に集まった農業の仲間と経営上の問題や悩みなどについて十分な話し合いができたことは貴重な体験でした。今後は4日クラブの活動を高め、後継者づくりに頭張りしたいと思います。

お知らせ・お知らせ

二級建築士試験願書を受付

五十二年度の二級建築士試験は次の要領で行われます。

【願書配布時期】五月四日(水)から五月二十日(金)まで

【願書配布場所】県建築課、各土木事務所

【願書受付】五月十三日～二十日

【受付場所】県建築課建築指導係

【試験日】学科Ⅱ七月二十三日、製図Ⅱ九月十八日

【試験地】熊本市大江・熊本第一工業高等学校

【設計課題】鉄筋コンクリート造り二階建て専用住宅

身障者に「青い鳥はがき」配布

郵便局では体の不自由な方のために「青い鳥はがき」の配布を行っています。ご希望の方は最寄りの郵便局で、身体障害者手帳を提示してお申し出ください。なお、郵便による申し込みも受け付けています。

技能検定受け資格をとろう

県技能検定協会は五十一年度前期の技能検定を行います。この技能検定は、国家技能検定制度として三十四年度から毎年実施されており、これに合格すると、一級は労働大臣、二級は県知事から合格書が交付され、技能士の資格が与えられます。受験申請書の受付期間は前期が五月二日から五月三十一日まで。

勝手に捨て方こまります！

本町に阿蘇南部四か町村のゴミ処理場ができて八年目。みなさんのご協力で順調なゴミ収集が進んでいます。しかし、家庭から出るゴミは年々ふえる一方で、町全体から一週間にはき出されるゴミは現在およそ三十一ト。二トトラックで十五台分にも達しています。

町ではスムーズなゴミ収集を図るために、収集箇所の立て札を立てる一方、燃焼物と不燃焼物の収集日をそれぞれ定めて、分別収集を行っているところです。

最近、この分別収集を無視して勝手にゴミを出す家庭が見受けられますので、なお一層のご協力をいただきたいと思ひます。次は清掃組合からお願いです。

◆ 石油カンやジュースの空きカンが多く見られます。空きカンはつぶしてひもで束ねると、小型化にご協力ください。

◆ ゴミは定められた収集日以外には出さないでください。なかには、収集日の二、三日前からゴミを置く人も見受けられます。近所の迷惑も考えて、ゴミは必ず収集日の朝出してください。

◆ 空ビンなどはバラで出さないでください。とくに空ビンの中に油や水が入ったまま出ていることがあります。せめてビンの水ぐらいは切ってください。

◆ 大きすぎるゴミ(冷蔵庫や自転車など)は出さないで。大きすぎるゴミを処分される場合は、事前に清掃組合(0719)へ連絡の上、係員の指示に従ってください。ゴミの減量、ゴミの小型化もみなさんの協力で、着実に成果を上げています。ゴミの減量は、とりもなおさず生活のムダを追放することにつながります。

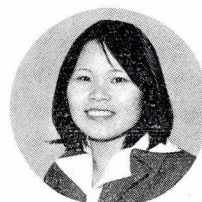


減量、小型化、収集日の順守にご協力を

年金受給者現況届の提出

国民年金の給付を受けている人は、毎年五月に「国民年金受給者現況届」の提出が義務づけられています。もし、現況届の提出がない場合、引き続き年金を支払ってよいかの判断がつきませんので、年金の支払いが一時差し止めされることとなります。

高森・森 後藤はるみさん(20)



お嫁さんにいいな

【趣味】スポーツ・音楽
△南阿蘇国民休暇村勤務△
したがって、次の指定された日に印鑑をご持参のうえ現況届をすませてください。

なお、福祉年金定時届の受付は同日行われます。五月の受給を早目にすまされて所定の場所に年金証書をご持参ください。代理人でも結構です。

△五月十八日午前九時～正午、役場野尻出張所△同日午後二時～四時、野尻農協河原支所△五月十九日午前九時～正午、草部基幹集

落センター△同日午後二時～三時、高森農協草部支所△五月二十日午前九時～正午、高森農協上色見支所△同日午後二時～四時、高森農協色見支所△五月二十一日午前九時～四時、畜産センター。

人事院で国税専門官試験を実施

人事院では、今年も例年どおり「国税専門官」の試験を行います。受験資格は昭和二十五年四月一日から昭和三十一年四月一日までに生まれた男子で、試験は大学卒業程度のものでなっています。受験願書の受付は、五月十六日(月)から五月二十三日(月)までですが、詳しくは人事院九州事務局のほか、国税局または最寄りの税務署にお問い合わせください。

母子センター入所について

経済的な理由で産科病院や助産所に入院できない妊産婦の方は、母子健康センターなどの助産施設を利用して低料金で出産することができます。

助産施設への入所措置を受けられる方は①助産施設入所申請書②課税証明書③出産給付費が確認できる証明書を入所希望の二か月前までに役場福祉係へ提出してください。用紙は役場にありま

「給食もあるんだよ」

町立草部北保育園 喜びの入園式

草部北部地区住民の念願だった町立草部北保育園が誕生、四月七日、喜びの入園式が行われました。

里です。

「辺地の幼児にも楽しい集団保育の場を」と、四十九年四月に地区住民の手で部落立保育園が草部北部小学校内にスタートしました。が、へき地集会所を一部改造したものだけに手狭で、新しい保育園の建設が望まれていました。建設されたところは草部北部中学校前の県道沿いで、保育に必要な給食設備はもちろん、オ

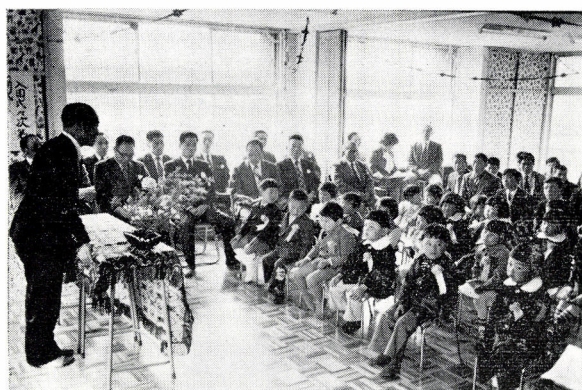
ルガン、スベリ台、ブランコ、鉄棒、放送施設なども備えられました。

入園式には、二十六人の園児をはじめ父母、地元有志多数の出席があり、開会のあと、岩下町長が「皆様方の熱意と、地元のご協力で、三番目の町立保育園が完成しました。今後は地域の子供さんたちが恵まれた環境の中で、りっぱな幼児教育を受けられ、健やかに育たれることを期待します」とお祝いの言葉をおくりました。

優等は富永氏ら4人 町優良子牛品評会

高森町優良子牛保留品評会が、このほど祭場と南阿蘇畜協の両会場で開かれ、町内各地から自慢の子牛百五十五頭が集まってにぎわいました。畜協技術員が若齢、壮齢別に慎重に審査した結果、次の上位入賞者が決まりました。

- 【草部・野尻地区】◎壮齢の部
Ⅱ▽優等 富永刀男▽一等 白石博昭、阿南和昭、工藤明人、阿南久幸、本田昭信、芹口滋明、野尻善人、今村忠、西川慶喜、宇藤守、井上恵◎若齢の部Ⅱ▽優等 甲斐義人▽一等 富高正男、本田正、白石広明、下田市蔵、安藤勲蔵、古沢一喜、工藤健一、本田昭信、鶴林孝雄、児玉邦広、城井若生、本田登、伊藤昭武、野尻典蔵。
- 【高森・色見地区】◎壮齢の部Ⅱ▽優等 住吉正三▽一等 宇藤実雄、山田金光、渡辺栄治、後藤文数、丹秀人、相馬俊行、住吉直美、岩下武義、岩下久吉、住吉直美、後藤八登、三森清男◎若齢の部Ⅱ▽優等 橋本野玄徳▽一等 本川朝一、桐原朝雪、荒牧清光、安方慶喜、津留明義、荒牧久利、宇藤利敏、後藤末義、杉田武徳、相馬行安、堀山今朝喜、住吉清美、本田生一。



草部北部保育園の入園式

本田家は江戸時代矢津田地方で最も栄えた一族です。野尻手永の在御家人の先祖付によると、天明三年分に三家、文政六年分に十四家慶応四年には十八家が記されています。

本多と本田は混同して使われており、これが確定したのは明治初年の戸籍帳からです。本多家には伝承の若干変わる二つの系統があります。文政六年分によって、本家筋と思われる二家について書いてみます。

◎本多善左衛門家

「私の先祖は鎌倉の住人本多次郎親経の後胤本多掃部之介(かもんのすけ)上方兵乱の折、敗軍いたし、永正のころ、英彦山(ひこさん)の座主ノ坊(さすのぼう)を頼み下つて来た。そして英彦山よりの依頼状を持参し、阿蘇殿の矢部の居城に参り、野尻手永矢津田村を領知した。一男若狭(わかさ)その子監物(けんもつ)まで三代仕えた。天正年中、阿蘇殿が衰微されたので浪人となり、

先祖付で見る本田(多)家

監物の孫甚五左衛門代一類中申し合わせ農家となった。甚五左衛門より四代矢津田村横目兼頭百姓となった」

◎本田宅助家

「私先祖は阿蘇殿時代本田弾正(だんじょう)野尻手永矢津田在を阿蘇家が領知した。天正のころ落去したとき浪人となり、弾正の子民部(みんぶ)先きの領地の所係で矢津田村に引き渡した。しかし浪人では生活ができないので、その子、甚五左衛門から農家になり、同村御百姓、悴奥右衛門、その子安左衛門が跡を引き継いだ。安左衛門は元禄年中寸志として鳥目(錢)七貫目差し上げた。その子安右衛門は庄屋となり、米二百俵を寸志として差しあげた。それで御郡代衆直触(じきぶれ)となった」この二つの先祖付を見ると、甚五左衛門は両方に共通しており、前者はその前に掃部之介、後者には弾正、民部が書かれており、長い間には一族でも、こんな

高森の歴史散歩

□10

本 田 秀 行

ふうに伝承の違いを見たのでしよう。文政六年分で前者の伝承を持った者九家、後者は五家となっています。

本多家の遠祖、本多次郎親経は平家物語巻九に現れている本田次郎のことで、畠山重忠の家臣、一ノ谷の戦いに、敵将平師盛を討ったと書いてある人です。上方の兵乱というのは、恐らく応仁の大乱などを指しているのでしょう。英彦山というのは九州の修験道(しゅげんどう)山伏の大本山であり、阿蘇家とはかなり深い関係があったようです。

明治戸籍が登録されたとき、当時の士族としては本多姓三家、本田姓八家が記載されています。その後、本田姓の家で裁判によって本多姓を復したのが、数家あります。

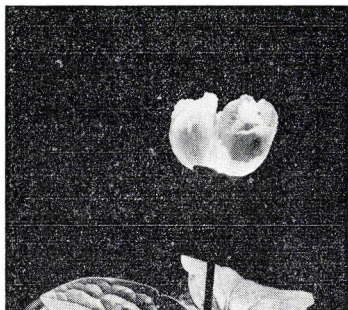
【備考】この先祖の話は江戸時代の公式文書である「先祖付」によったもので、現在各家に伝わる系図や伝承と違っている点は、どうぞご諒認ください。

郷土の博物誌

20

五月もまだ二十日ごろまでは、思いがけない晩霜に襲われることもあって、油断できないが、草木の新芽は若葉に変わり緑が緑を呼ぶ季節に野山を歩けるといのは実に楽しい。そして、この若葉に埋れた森の中から「日本男子ここにあり」とばかりに、さわやかな五月の風に泳ぐ、こいのぼりを見つけるとなんとなくさびしい想いに誘われがちの私の気持ちも一変する。新しい男子の出生を象徴するこいのぼりは、勇壮で頼もしく、また誇らしく感じる。さて、そんな五月のある日だ

ベニバナヤマシャクヤク



私は汗を静めるために、山かげの木立ちの下に腰を下した。そのとき初めて私はこの「ベニバナヤマシャクヤク」に出合っ

たのである。逆光で見る花びらは、輝やくようなピンクにすけて、スギ木立ちの暗いバックの中では、息をのむほど鮮やかで美しかった。

私はこうした文句のない美しさに感動するときにこそ「神」を意識し、敬けんな感謝の祈りをささげずにはいられない。確かに、自然とは私にとって、「神」そのものというよりほかはない。

白いヤマシャクヤクも今では珍らしいが、このベニバナヤマシャクヤクは珍品中の珍品である。

わが高森町に、まだこの花がひっそりと自生していていることは喜ばしい限りだ。(キンボウゲ科)

高森町文化財保護委員 佐藤 武之

美しい町づくりめざして

国道沿いを一斉清掃

九十九曲り テングス病退治も

高森校区婦人会と高森観光開発促進協力は、町が推進している「美しい町づくり」運動に協力して、四月五日高森峠一帯の美化作業に汗を流しました。

役員約三十人を繰り出して国道沿いの一斉清掃を行いました。二合目から展望所に至る約三キロの沿道に散らかったビニール袋、木片、竹切れや観光客が捨てたアキカン、紙袋などを集めるのが、その主な作業。

町役場からも観光課職員三人が参加し、婦人会が集めたゴミをト



協力会のテングス病退治



空力ンを集める高森婦人会

ラックで焼却場へ運びました。この日、処理したゴミは四トトラックで二台分。

とくに、新しいトンネル付近やらん山遊歩道入口は道幅が広くて駐車できるため、車から紙くず、ジュースのアキカンなどが捨てられてよこれが目立ち、会員たちはドライバーの自覚を訴えていました。

高森観光開発促進協力会 内の町

商店主がおもて約二十人が参加。沿道の桜並木に分散してテングス病の防除作業をしました。

テングス病はサクラ特有の病気で、これにかかると花が咲かなくなり、放置すると枯死します。高森峠の桜はかつて千本桜の名称もあり、沿道は桜並木のトンネルで県下に知られていましたが、現在はこのテングス病のため半減しているのが現状。

そこで同協力会が生き残った桜だけでも大事に育てようと、毎年テングス病がでる初春に病枝を切

島田勇さんに

一等の自転車

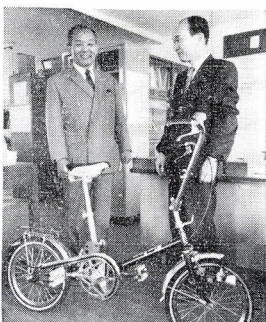
お年玉年賀はがき

昨年に続き二年連続してお年玉付き年賀はがきの一等当選者が町内に出て、このほど高森郵便局で折りたたみ自転車の交付式がありました。

「幸運」を射止めたのは、高森

タバコは町内で買いました

日ごろ何気なく吸うタバコも町の貴重な財源となっています。これは専売公社から町内の小売店に売渡されるタバコに対して百分の一八・一がタバコ消費税として町に還元されるからです。昨年度のタバコ消費税は約一千九百七十七万四千円にもなっています。



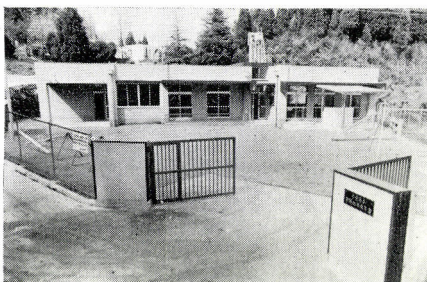
賞品の自転車と島田さん(左)

横町の島田勇さん(五)。差出人は島田さん本人で、熊本市の友人に喪中欠礼のあいさつを年賀はがきで送ったものが、受取人不明で返送され、これがラッキーナンバーだったというわけ。島田さんは毎年約百七十枚の年賀状をもらっていますが、いつも切手シートや封筒セットぐらいいしか当たったこ

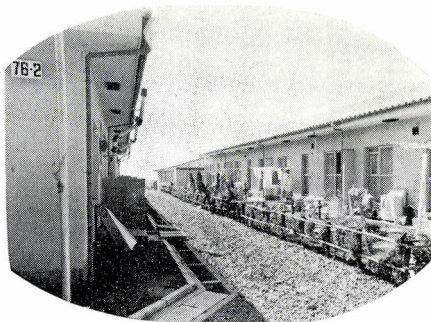
51年度 町の主な事業紹介

町では「住みよい豊かな郷土」をめざし、各種の基盤整備に取り組んでいます。五十一年度もみなさんのご協力で、町民センターをはじめ、草部北部保育園、公営住宅など数多くの事業が完工しました。そこで、その中から主なものを写真で紹介いたします。

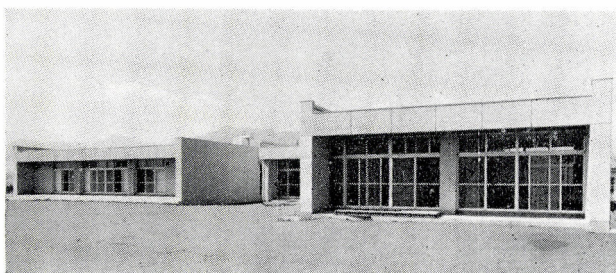
草部北部保育園



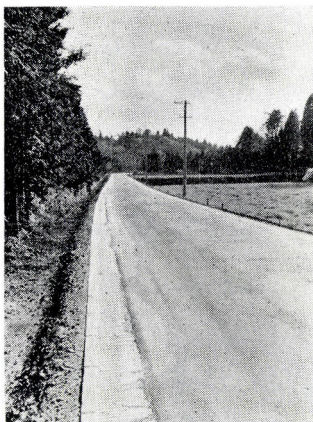
町営住宅



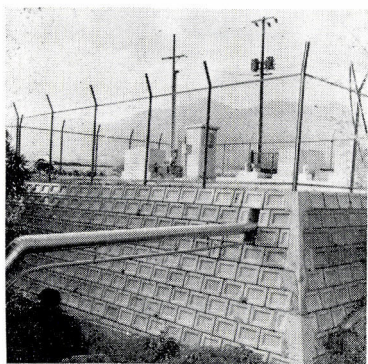
町民センター



舗装された町道「河原一大戸口線」



休暇村へ水を送る揚水施設



300円の長靴や園児服

高森保育園母の会

好評だった不用品バザー



掘り出し物がいっぱいのバザーセール

高森保育園の母の会では、身近にある不用品を見直そうと、このほど同保育園で初めてのバザーセールを催しました。節約運動の一端に、各家庭の押入れなどにしまい込んだままになっている子供用の古着、オモチャ、はきものなどを各自が持ち寄り、廉価で売買して生活に役立てようというもので会場にはきれいに洗濯されたワンピース、セーター、ズボン、スカートなどの衣類やベビー用品約三百点が運び込まれました。出品物には十円から最高千円まで全部に値段がつけれ、直接ほしいものが自由に買えるというシステム。ひとつ三百円の長グツや園児服があれば、一度も使いなし

のおくろみや子供服、ベビーベツト千円などの掘り出し物がいっぱい並んで、詰めかけた約百人の主婦たちは品定めに懸命、買い物のあと、わざわざ我が家の不用品を寄付された人もあって、和気あいのバザーセール風景でした。なお、この日の総売上げは四万円程度でしたが、益金はすべて保育園事業と母の会運営に充てられることになりました。

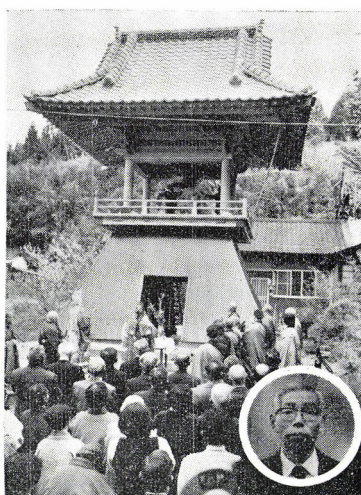
母の会では、家の中の整理もできると好評だったので、今年度から年二回のバザーを開きます。衣替えの季節に不用品の衣類、日用品があれば園まで届けてほしいといっています。

高森城主の子孫が寄進

梵鐘・鐘楼の落慶式

含蔵寺

高森城主・高森伊予守惟直の菩提寺である上在の含蔵禅寺（本田 秀道住職）に、このほど惟直の子孫にあたる青森市在住の高森清吉さん（五〇）から梵鐘（ぼんしゅう）が寄進され、その鐘楼も完成したので、四月上旬同寺に門徒や関係者ら約二百五十人が出席して盛大な供養落慶式が行われました。



完成した鐘楼と高森さん（円内）

戦国時代、高森城主だった惟直は阿蘇一族の家臣として東外輪山の一角に城をかまえ、南郷

を、次に列記してみました。
◆売上げ代金の領収書や、手形、工事請負契約書、不動産の売買契約書、金銭借用証書などの印紙税の最低額が五十円から

一帯を治めていました。しかし、阿蘇氏らを制圧しようとして襲った薩摩・島津勢の再三の攻略で天正年間高森城は落城し、惟直らは自刃、その墓は現在も同寺境内に設けられています。

梵鐘を寄進したのは惟直の末裔（まつえい）に当たる青森市青柳二丁目茶畑・茶道具販売業を営む高森さんで、高森さんは昨年同寺で行われた、惟直の三百九十忌墓前祭のとき初めて同寺を訪れ、門徒らの間で鐘楼建立の話が出ていることを聞いて「先祖供養のために」とさっそく梵鐘の寄進を申し出たものです。

梵鐘は富山県高岡市で制作された高さ一・五尺、直径約九十センチのりっぱなもの。落慶法要のあと、青森から駆けつけた高森さんが梵鐘のつき初めを行い、みんなで鐘楼の完成を祝いました。

印紙税

このほど、印紙税法が改正され、五月一日から作成される文書の印紙税が変わりました。

この印紙税とは、領収書、手形契約書など一定の文書を作成した人が、定められた収入印紙をはりつけ、これに消印して納める税金です。改正された主なもの

税額が引き上げられます

5月1日から

◆売上げ代金の領収書のうち、次に列記してみました。
◆売上げ代金の領収書や、手形、工事請負契約書、不動産の売買契約書、金銭借用証書などの印紙税の最低額が五十円から
◆委任状や金銭の預り証、商品の売買契約書など、今まで一

律に五十円の印紙税が課されていた文書は、すべて百円の印紙税が、課されることになりました。

◆売上げ代金の領収書のうち

受取金額の記載のある文書を、引用しているものは、たとえその領収書に金額が書かれていなくても、その引用した金額と同じ金額が書かれているものとし

三つ子の赤牛誕生

赤羽根の安藤さん

草部地方では初めて



元気に育つ三つ子の赤牛

矢津田、赤羽根の農業、安藤一雄さん（五七）方の牛舎で、このほど三つ子の赤牛の赤ちゃんが生まれました。お手柄の母牛は「みどり号」十一歳で六回目のお産。

て、その金額に応じた印紙税がかかることとなります。

◆金銭の受取り通帳や家賃通帳などの印紙税額は、百円が二百円に、また判取帳や継続的取引の基本となる契約書の印紙税額は、千円が二千円にそれぞれ引き上げられました。

なお、これらの改正は五月一日以降に作成される文書に適用されます。詳しくは阿蘇税務署におたずねください。

赤ちゃん牛は三頭ともメスで、体重は十三キロから十五キロ程度。普通の肥育牛の赤ん坊よりやや小柄ですが、三頭とも元気で母牛のそばで立ったり座ったり。ウワサを聞いて近所の人たちが見物に訪れています。

高尾野の後藤浅義さん（七四）の話では、草部地方で牛の双子はときたま見受けたことはあるが、三つ子が誕生したのは記憶がないといっています。最近では母乳と脱脂粉乳、牛乳などの人工乳を交互に与えていますが、安藤さんは、さすがにうれしそう。母牛の乳が多く出るようにとモチ米のおかゆを食べさせたり、ダイズを引いて糖乳を飲ませるなど長男の進英さん（三四）と牛舎につきっきりです。